

1. 活動の概要

7月3日(水)、安来市立飯梨小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。“奈良の大仏と古代の飯梨について”と題し、実物大の大仏パネルづくりを中心とした学習活動を行いました。

まず古代の飯梨地域がどのような地域であったのか、飯梨地域の遺跡や『出雲国風土記』の記述から紹介し、飯梨地域で見つかった古代の土器を触ったり、石棺を観察したりして児童に理解してもらいます。そして奈良の大仏がつくられた時代背景について説明し、みんなで協力しながら大仏パネルをつくってもらいます。この体験活動を通じ、大仏の大きさを実感することができたのではないかと思います。最後に完成した大仏を観察しながら、大仏のつくり方や螺髪、白毫など大仏の特徴について説明しました。

2. 活動の様子



「古代の飯梨ってどんな様子だったのかな」



「飯梨地区で見つかった古代の土器を見てみよう」



「飯梨地区で見つかったお墓の棺を観察してみよう」



「完成した飯梨小大仏で記念撮影」

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・「飯梨」という地名が1300年前からあると知って、心に残りました。
- ・飯梨にとっても歴史があるということを知ることができました。
- ・飯梨にある古墳からさびていない大刀が見つかったと聞いて、びっくりしました。
- ・昔の土器をさわってみたのが心に残りました。
- ・大仏パネルをつくってみて、とても大きいと思いました。
- ・本物の奈良の大仏を見たいです。

2) 担任の先生から…

- ・ふるさとに密着した話で、子どもたちが飯梨という地区を誇りに思うことにつながったと思います。
- ・とてもわかりやすい説明で勉強になりました。

3)古代文化センターから…

「飯梨」は、今から約1300年前につくられた古代出雲の地誌である『出雲国風土記』に記されており、とても歴史のある地名です。しかも、それだけではなく、古墳時代の遺跡も飯梨小学校周辺にはたくさん存在し、そこから貴重な大刀や金冠などが見つかり、飯梨地区が古くから重要な地域であったことがわかります。古墳時代の土器をさわったり、校庭にある石棺を観察したりすることを通じ、飯梨地区の歴史を皆さんに感じてもらえたのではないかと思います。

また、奈良の大仏がつくられた時代背景を紹介し、大仏のつくりかたを説明したあと、体育館で皆さんに大仏パネルづくりをしてもらいました。みんなで協力しながら大仏を完成させることを通じ、大仏の大きさを体感してもらえたのではないかと思います。

今回の体験活動を通して、飯梨地区や出雲地域の歴史について、皆さんがより一層興味関心をもってもらえることができたら嬉しいです。